

都市計画街路事業

沼館線拡幅工事完成



拡幅工事が完了した沼館線の三百メートル区間

市では、大館西道路の側道と接続する都市計画街路・沼館線の拡幅工事を進めています。昭和六十三年度に着手した清水交差点から沼館へ向かって約三百メートル区間の工事が今年十月に完了。残る約八百メートルについても早期に拡幅したいと考えています。

沼館線は

重要路線になる

沼館線は、沼館の第一環境センター付近から県道大館十和田湖線の観音堂付近までの約三・五キロの道路です。

沼館線のうち清水交差点から観音堂までは、すでに幅員十六メートルに拡幅整備されていますが、清水交差点から第一環境センターまでの約一・一キロについては、幅員も八メートルと狭いうえに歩道もない状態でした。近い将来、この線は自動車専用道「大館西道路」の側道と第一環境センター付近で接続される重要路線になるため、市では昭和六十三年度から拡幅事業を進めています。

800メートルは

来年度事業化を目指す

計画は、幅員十六メートル（車道九メートル、両側歩道各三・五メートル）に拡幅するもの。都市計画に基づき用途地域内の清水交差点から約三百メートル区間の都市計画街路事業により完了。残る約八百メートル区

間は道路改良事業で実施することとしています。

今年の十月で完成した約三百メートル区間の特徴としては、歩道に植樹帯を設けてサルズベリとドウダンツツジを植えたほか、歩行者保護用のフェンスに大文字をデザインしたこととです。現在、未工事部分とのつなぎ目がかギ状になっているので、それを解消する工事を行っています。

市では、引き続き残る約八百メートル区間の拡幅事業に着手したいため、国に対して、来年度からの新規事業として採択していただくよう要望しています。

拡幅完了は

側道供用開始前に

沼館線が大館西道路の側道と接続すると、市内国道7号の交通混雑解消はもちろん、沼館地区へのメリットも多いものと考えられます。

建設省では、平成七年度に側道の供用開始を予定していますから、市としては、その前にぜひ拡幅工事を終わらせたいと考えています。

市長への手紙

ごみ再生処理施設の建設を

大手企業の誘致促進を

ごみの減量化や再生利用のため、全国各地で「ごみの再生処理施設」などの整備が進められているようです。大館市は他に類を見ない、しかも大規模な施設を建設すべきです。

(西大館 木村友蔵さんほか 匿名一名)

へご返事します

ご高見のとおり、ごみは単に回収し、焼却・廃棄するのではなく、資源の有効利用、廃棄物の発生抑制、環境保全などの面から再生利用していく必要があります。

本市でもすでに資源ごみ回収運動や使用済み紙類のリサイクルに積極的に取り組んでいます。また、ごみの再生処理施設や分別収集施設等の建設についても、平成六年ころと見込まれる大館市、比内町、田代町の広域圏ごみ処理施設等整備計画立案に向けて、広域圏組合と協議していきたくと考えています。

さらに、若者を対象とした企業ばかりでなく、中高年者も働くことができる企業をというところで、現在企業と折衝中です。

「市長への手紙」は、十二月一日から郵送でもできます。各公民館に備え付けの用紙に、皆さんのご提言を書いてドシドシお寄せください。お待ちしております。